クボタ管理機

取扱説明書

TMA 35・35-RU 45

J-2547

安全宣言

安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

ギヤーオイル給油

チョークレバー

専門用語の説明

ON ・・・・・・スイッチの**“入”**運転

OFF ・・・・・・スイッチの**“切”**停止

PTO ・・・・・・動力取出軸

N ・・・・・・・変速位置**“中立”**

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が秀れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **警 告**：注意事項を守らないと，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注 意**：注意事項を守らないと，けがを負うおそれのあるものを示します。

重 要：注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足：その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目 次

⚠安全に作業するために …… ⚠-1

サービスと保証について …… 1

もうおぼえられましたか？ ●各部の名称と装置の取扱い

各部の名称と装置の取扱い…… 2

作業前にこれだけチェック ●作業前の点検について

作業前の点検について…… 4
調子よく作業するために…… 4
安全に作業するために…… 6

このように運転します ●上手な運転のしかた

エンジンの始動のしかた…… 8
停止のしかた…… 9
発進のしかた…… 9
ならし運転（最初の10時間程度使用まで）……10
エアクリーナの調節……10
ハンドル高さの調節……10

こんなときどうする？ ●管理機の簡単な手入れと処置

エンジンオイルの交換……11
ミッションオイルの交換……11
エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換……12
燃料パイプの交換……12
フィルタポットとフィルタエレメントの清掃と交換 ……12
点火プラグの調整・清掃・交換……13
主クラッチケーブルの調節……13
新しいベルトに交換する場合……14
タイヤの空気圧の調節……14

作業が終わったら

使用後の手入れ……15
エンジン始動不良を防ぐために……15
保管……15
燃料の抜取り……15

管理機を運搬するとき

自動車（トラック）への積込み，運搬……16

付 記 ●主要諸元・主な消耗部品一覧表・標準付属部品・取付け部略図

主要諸元……17
主な消耗部品一覧表……18
標準付属部品……18

トラブルと処置

エンジンが始動しないとき……19
エンジンの回転が上がらない，不安定，
出力が不足する……19
異音がして，車輪が回転しないとき……19

⚠ 安全に作業するために

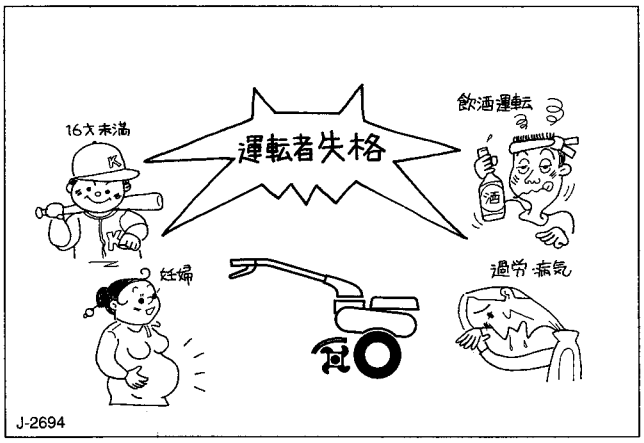
必ず読んでください。

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

1．運転する前に

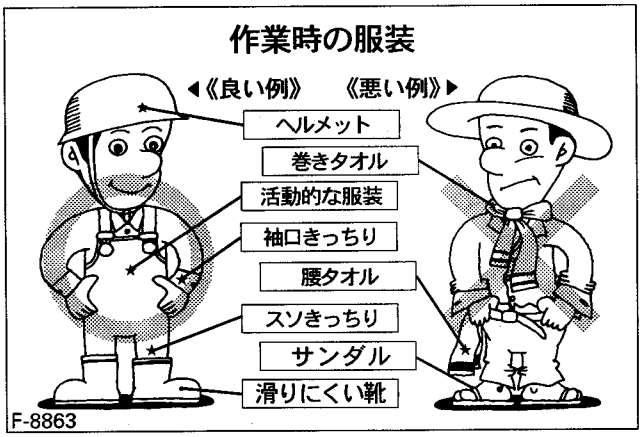
機械の運転操作，特に主クラッチ**“切”**はすばやくできるよう，よく練習し，充分になれてから作業してください。
次の項目に該当する場合は機械を使用しないでください。

＊本書及びラベルの内容が理解できない人
＊視力不足等のため表示内容が読めない人
＊飲酒時や体調が悪い時また妊娠中の人
＊16才未満の人
＊ハンドルを操縦する体力に自信のない方



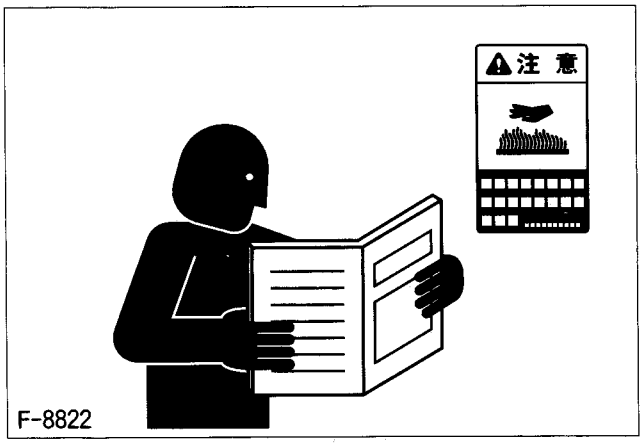
■使用する人の服装は

＊回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオル等はやめてください。
＊ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。



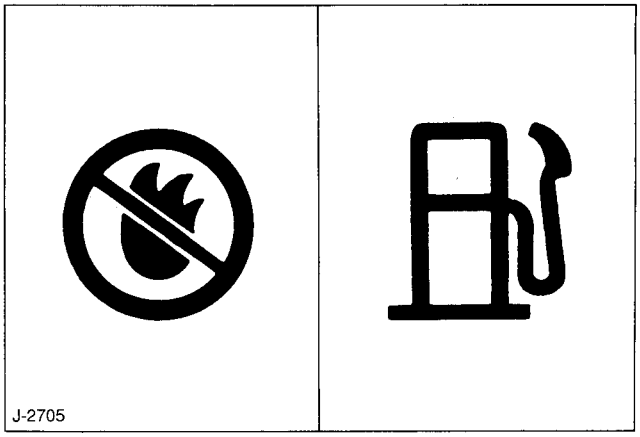
■他人に貸すときは

事前に運転のしかたを教え，**“取扱説明書”**を必ず読んでもらってください。



■給油，注油するとき【火気厳禁】

燃料の給油，補給は必ずエンジンを停止しこぼれた燃料はふきとり，煙草を吸ったり火気をちかづけないでください。エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災の恐れがあるので給油・補給はしないでください。

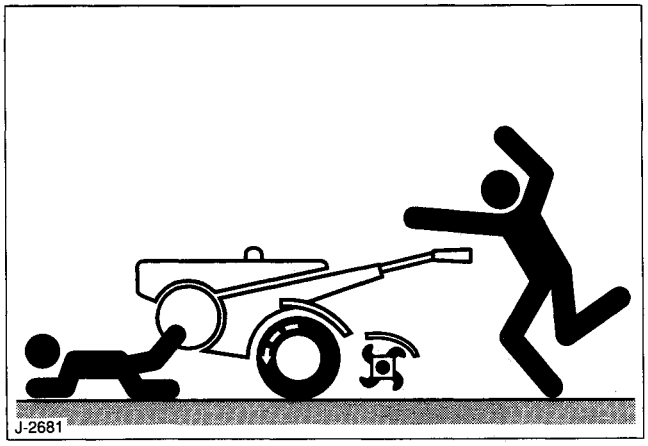


⚠ 安全に作業するために

2．始動するとき

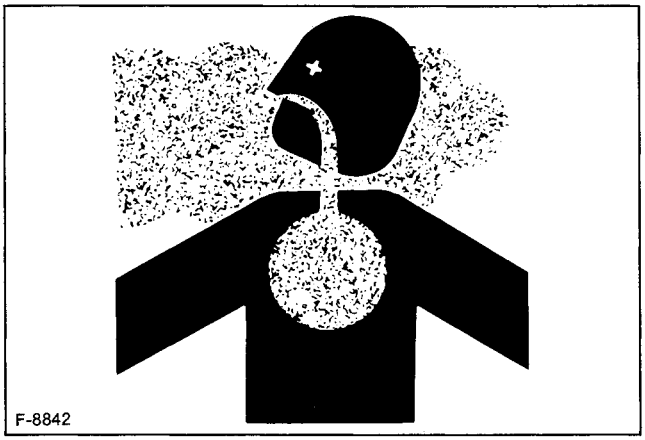
■エンジンをまわすとき

＊必ず本機，ロータリ（作業機）の主クラッチレバーを**“切り”**変速レバーは**“中立”**にして，付近に人（特に子供）をちかづけないでください。もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になる恐れがあります。



■排気ガスに注意

排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがある換気の悪い所（ハウス，車庫等）では使用しないでください。

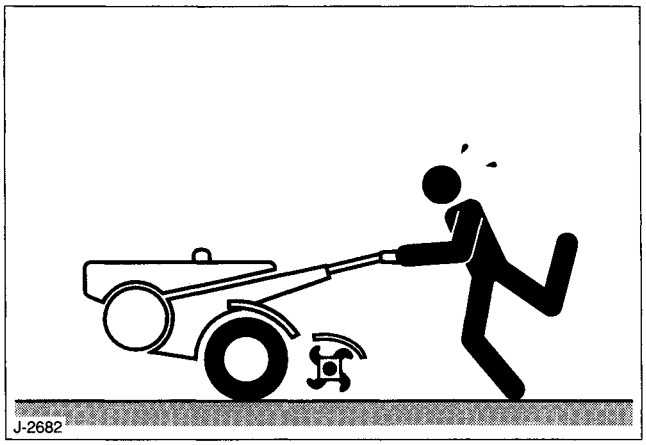


3．移動，作業するとき

■発進するとき

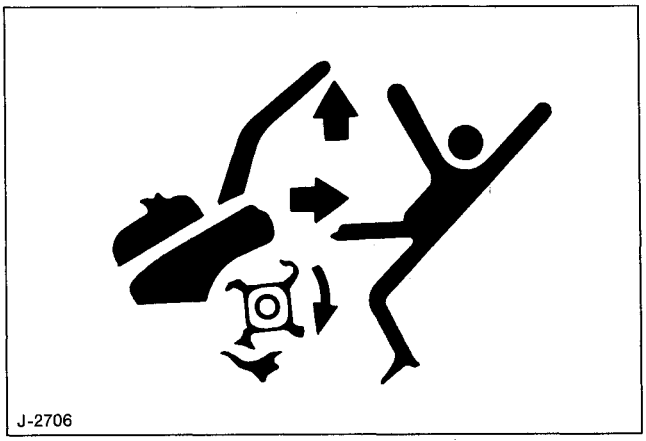
車速の最低速で主クラッチレバーの**“入”**はゆっくり，**“切”**は素早くの操作を習熟した上で使用してください。

小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。



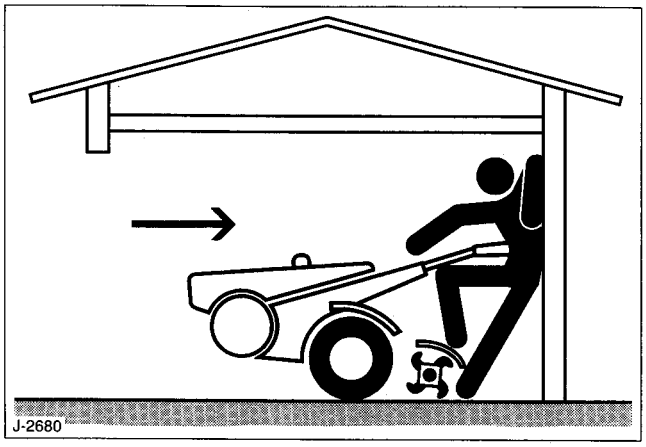
■ロータ装着時後進は禁止

ハンドルが跳ね上がり回転する爪に巻き込まれる恐れがあるので**“後進”**に変速しないでください。



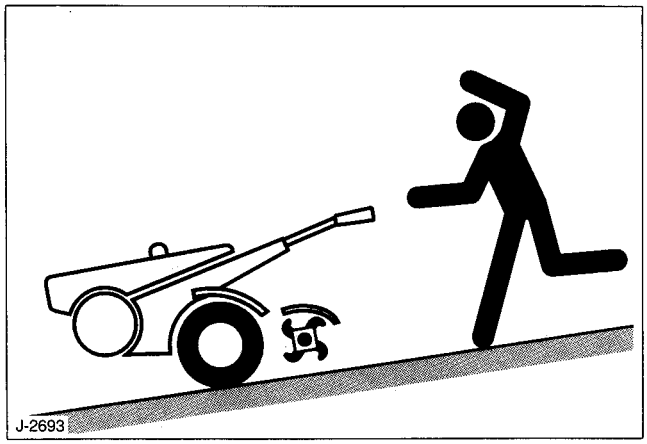
■ハウス，車庫等での移動

後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれる恐れがありますので遅い車速で後進してください。



■坂道を移動するとき

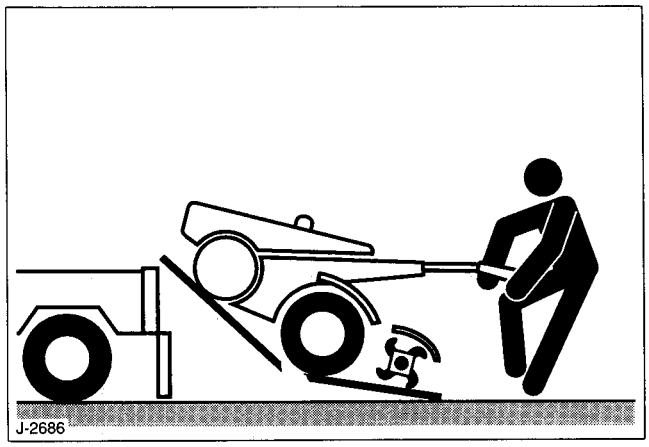
坂道，ほ場の出入り，畦の乗り越え等の途中で主クラッチを**“切”**ったり，変速を**“中立”**にすると，機体がおもわぬ方向に進み危険です。また，坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。



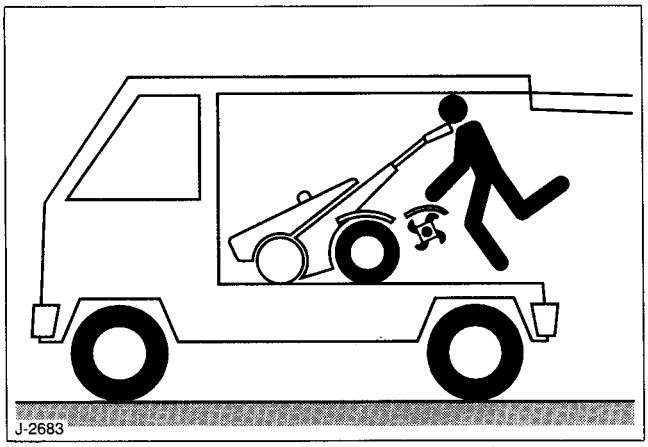
■積み降ろしするとき

アユミ板は丈夫ですべり止めのあるものを使用し，確実に固定してください。

足元に注意し，車速は最低速で，上りは**“前進”**下りは**“後進”**で行い，途中で主クラッチを切ったり変速操作をしないでください。

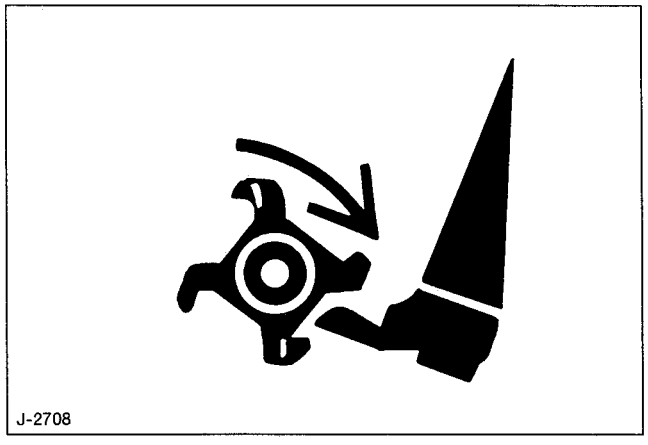


車などで運搬するときは，必ず荷台に天井がない車を使用してください。



■回転している爪に注意

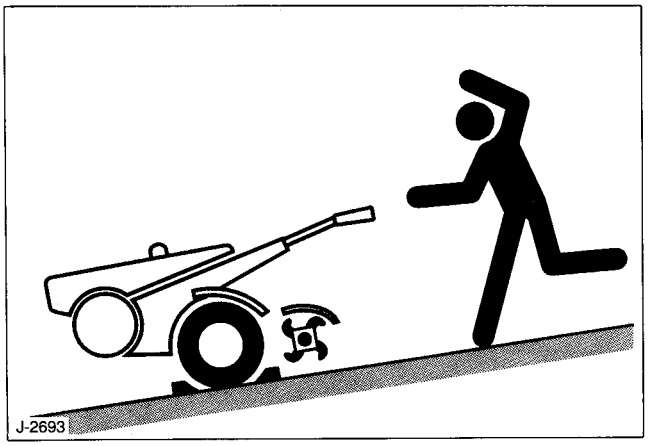
ハンドル部を持ち上げ旋回する時，足下および周囲に充分注意しないと回転する爪に巻き込まれる恐れがあります。



⚠ 安全に作業するために

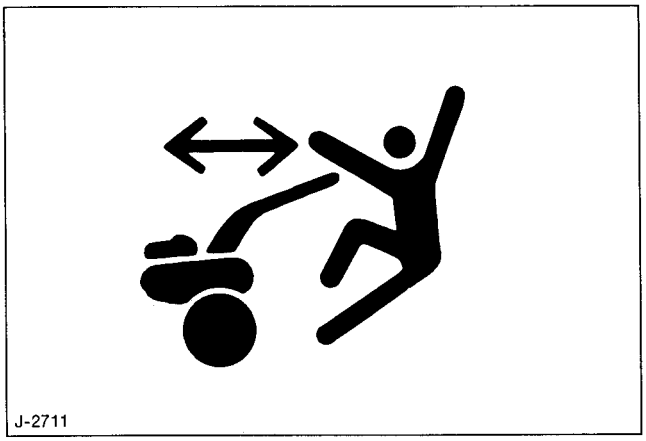
■機体から離れるとき

エンジンは必ず停止させ平坦で安定した場所に駐停車します。
やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください。



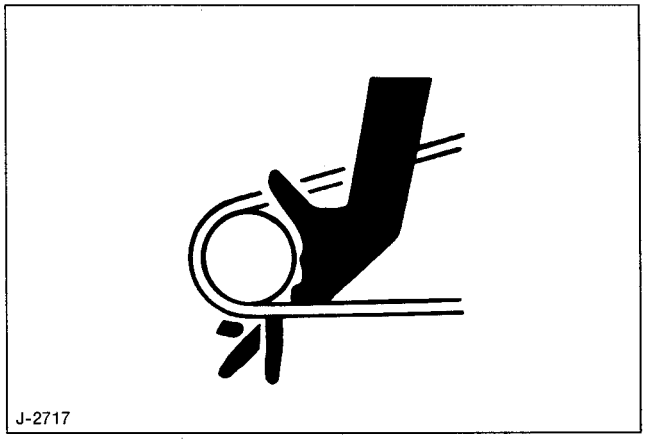
■耕うん作業するとき

車軸（ロータ），爪軸（ロータリ）作業で機体が思わぬ方向に飛び出し転倒や人身事故の恐れがありますので，主クラッチの接続はゆっくり行ってください。



■PTO軸を使用するとき

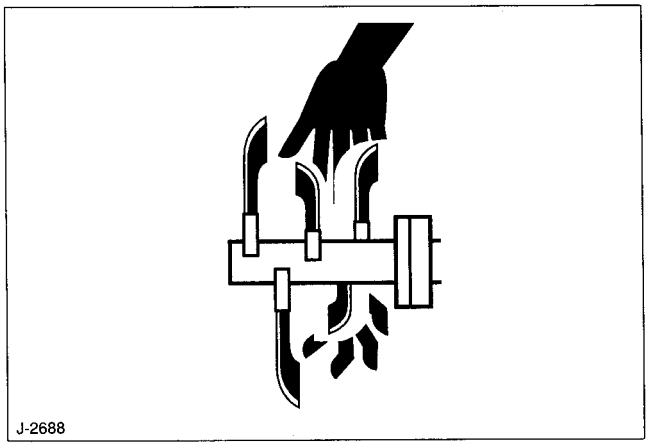
回転軸に巻き込まれる恐れがあるのでまわりにカバーや囲いをしてください。使用しない時はカバーを組み付けてください。



4．作業が終わった時

■掃除をするとき

車軸（ロータ）爪軸（ロータリ）等に巻き付いた草，ワラ，泥土等を取り除くときは，必ずエンジンを停止してください。

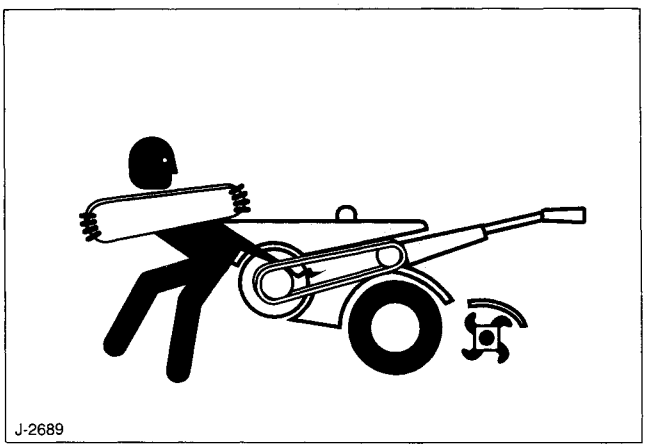


5．点検，整備をするとき

点検，整備，アタッチメントの脱着などは機械が転倒しない平坦な所にスタンドを立てエンジンを止め，高温部が冷めてから行ってください。

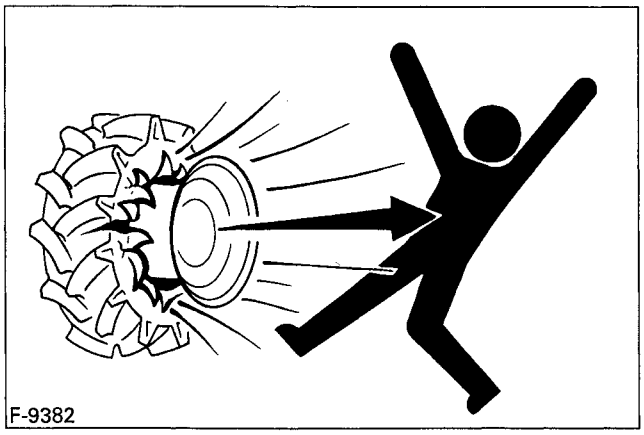
■カバー類は必ずつける

ベルトカバーなどの防護装置を取り外す場合は，必ずエンジンを停止して，作業後は取り外したカバー類は元通り組み付けてください。
又作業機（ロータリ）を外した時はPTO軸にカバーをつけてください。


J-2689

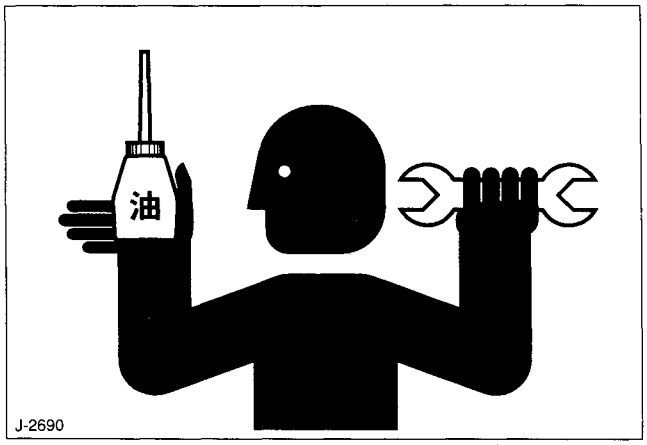
■タイヤの整備

タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。
空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）


F-9382

■1年毎の定期点検を

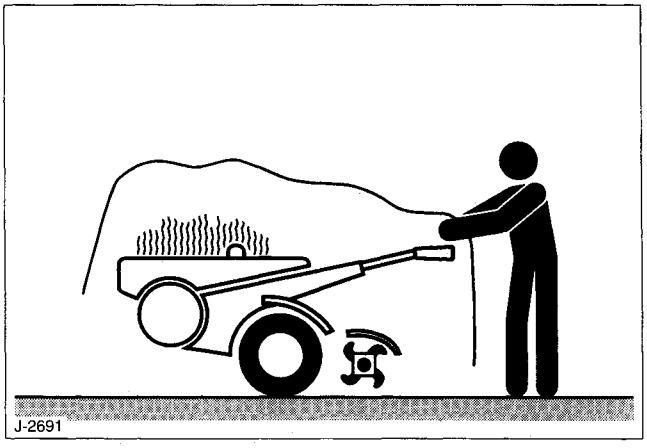
機械の整備不良による傷害事故などを未然に防止するため1年毎に定期点検，整備を受け特に燃料パイプは2年毎に交換して安全に作業出来るようにしてください。



J-2690

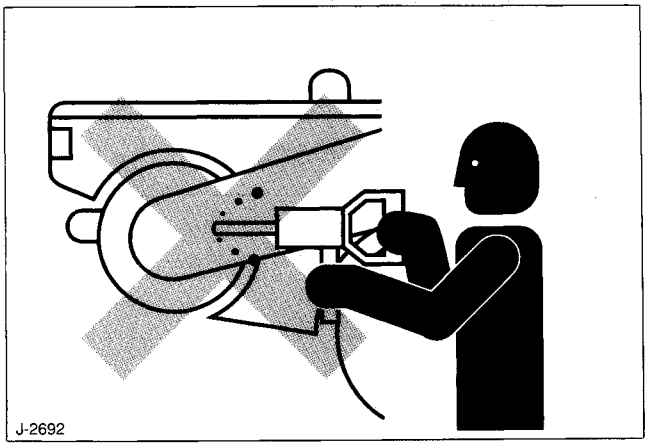
■格納するとき

機体に保管用カバーをかけるときは火災予防のため高温部が冷めてから行ってください。


J-2691

■機械の改造禁止

機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながる恐れがあります。

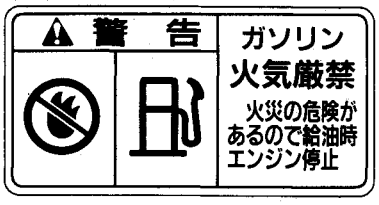

J-2692

⚠ 安全に作業するために

6. ⚠表示ラベルと貼付位置

① 品番　60932-4825-1

② 品番　60932-4821-1

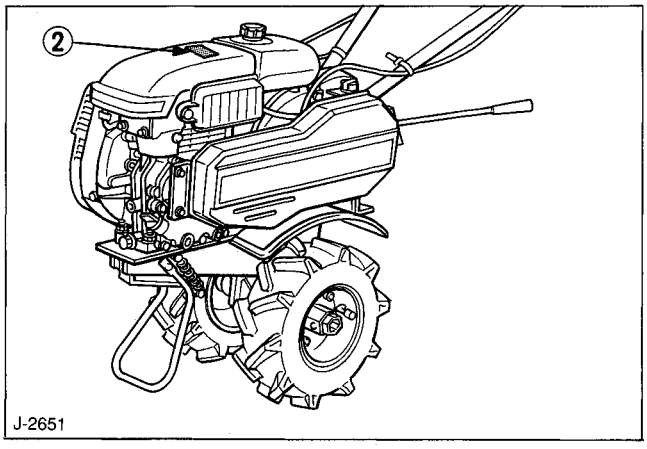


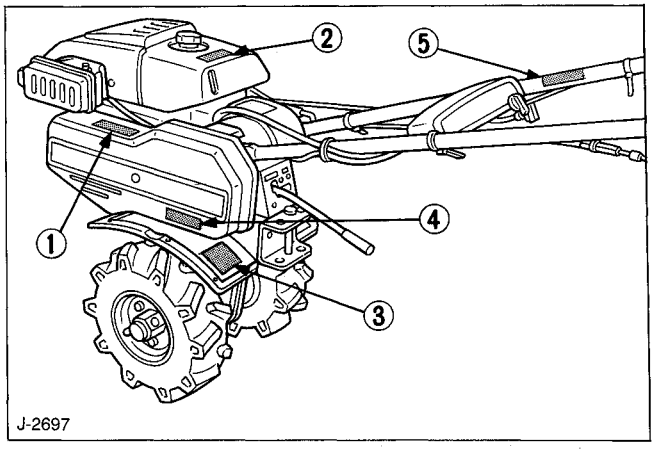
③ 品番　61592-4833-1

④ 品番　60802-4828-1

⑤ 品番　60932-4823-1

〔TMA45 仕様〕

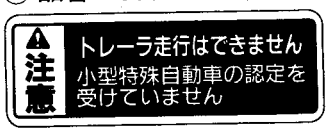




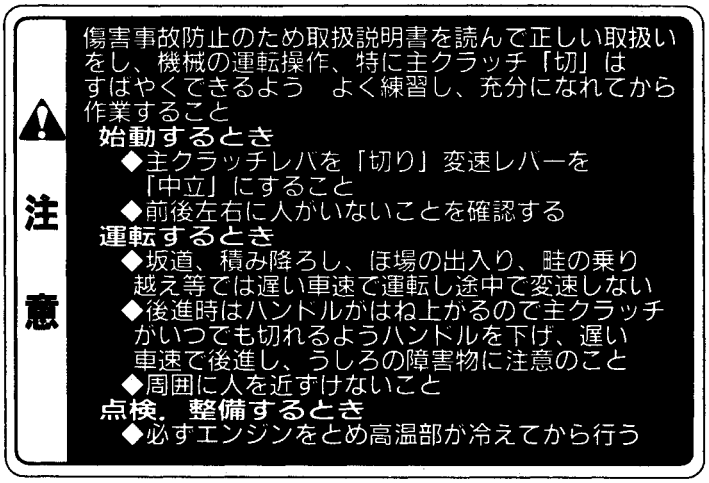
〔TMA35-RU 仕様〕

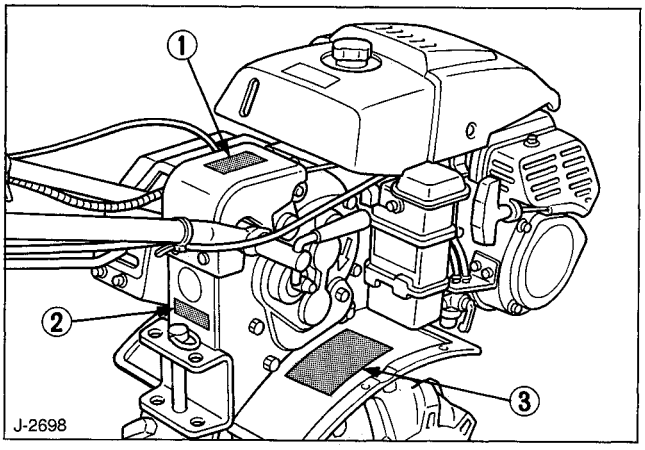
① 品番　61592-4812-1

② 品番　60932-4828-1



③ 品番　60932-4822-1





7．⚠表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷をつけないようにしてください。
　もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
(2)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
(3)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。
(4)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので
ご使用前によくご覧ください。

■ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先に，それぞれ**"ご相談窓口"**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1)管理機名称と車台番号
　　(2)エンジン名称とエンジン番号
を併せてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

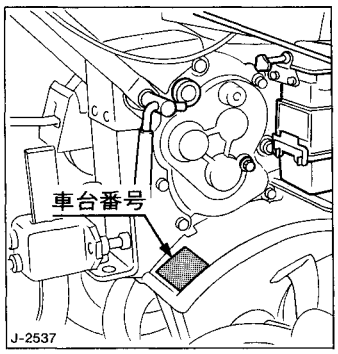
注　意

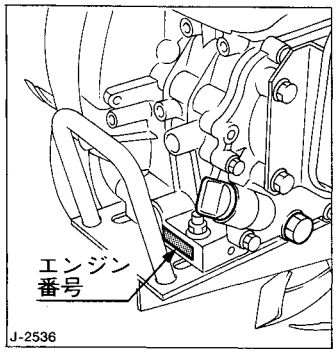
＊トレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道でのトレーラ走行はできません。

◆安全鑑定番号

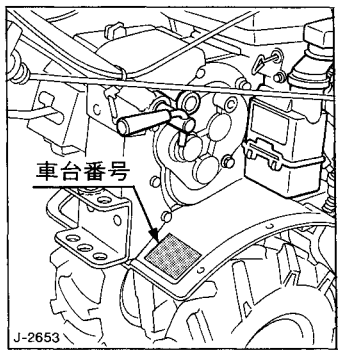
クボタTMA35……16133
クボタTMA35-RU…16134

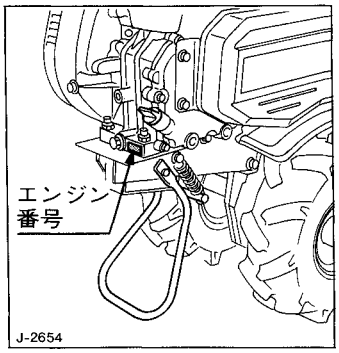
【TMA35】





【TMA45】





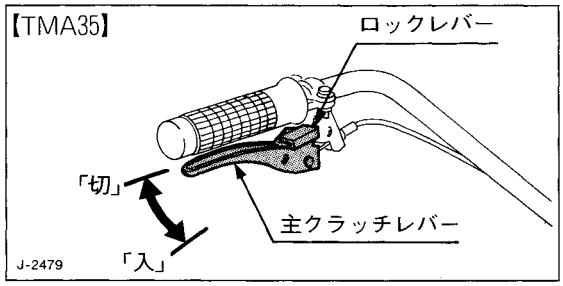
もうおぼえられましたか？　●各部の名称と装置の取扱い

主クラッチレバー

主クラッチレバーの操作は，ゆっくり行ないます。急激な操作を行なうと機体が飛出したり，エンジンが停止したりします。

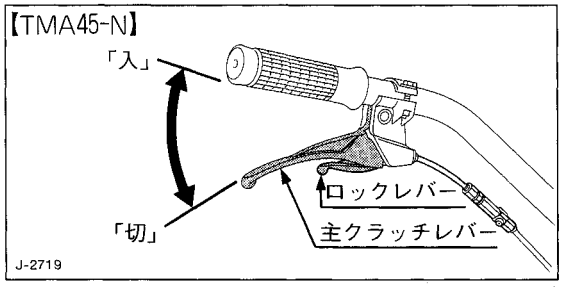
主クラッチ**"入"**→レバーを握りロックレバーを下に押すと、レバーが戻り主クラッチが**"入"**ります。

"切"→レバーを握ると主クラッチが**"切"**れます。一旦クラッチを**"切"**るとロックレバーが作用して、指を離しても戻りません。



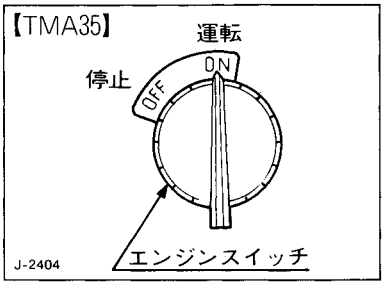
主クラッチ**"入"**→レバーを握ると主クラッチが**"入"**ります。一旦クラッチが**"入"**るとロックレバーが作用して、指を離しても戻りません。

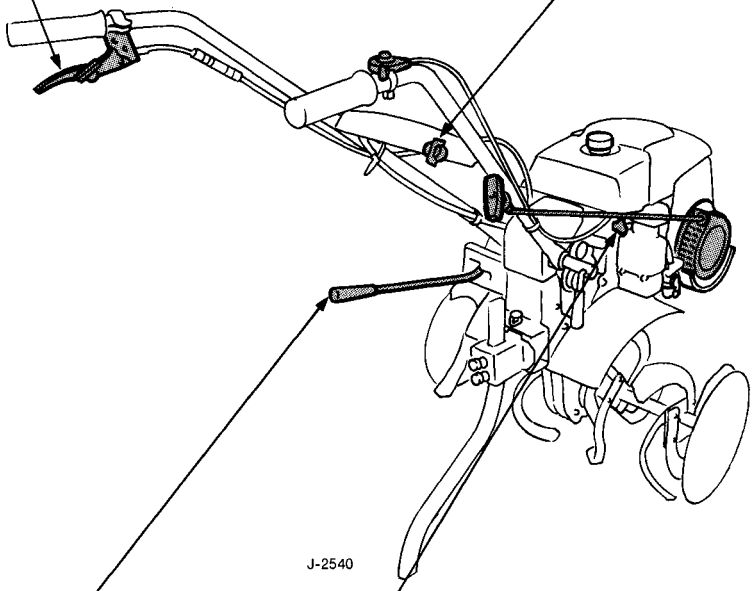
"切"→ロックレバーを握り指を離すと、レバーが戻り、主クラッチが**"切"**れます。



エンジンスイッチ

●エンジンの運転・停止に用います。





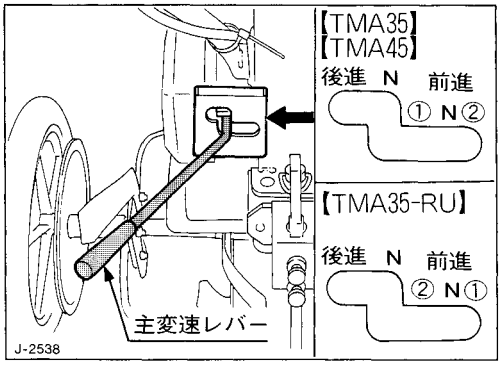
主変速レバー

●変速操作は主クラッチを**"切"**ってから行なってください。

●主変速レバーの組合せで前進… 2段，後進… 1段

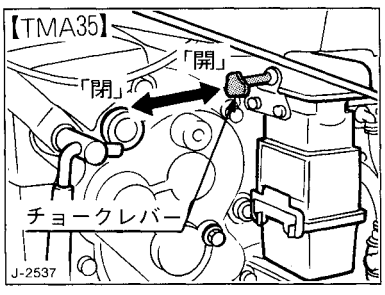
重　要

＊前進・後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。



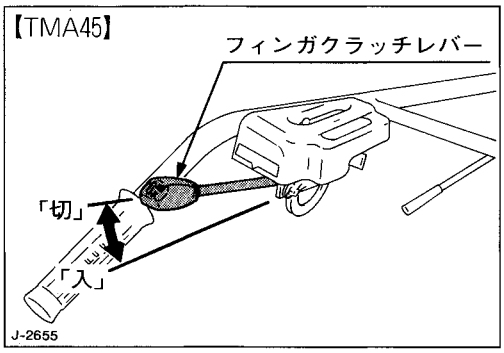
チョークレバー

●エンジン始動時に使用します。



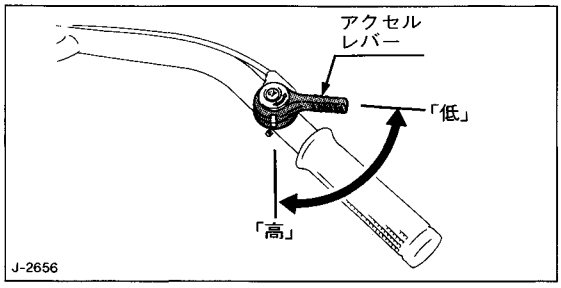
フィンガクラッチレバー

●フィンガクラッチレバーの操作は，ゆっくり行ないます。
急激な操作を行なうと機体が飛出したり，エンジンが停止したりします。



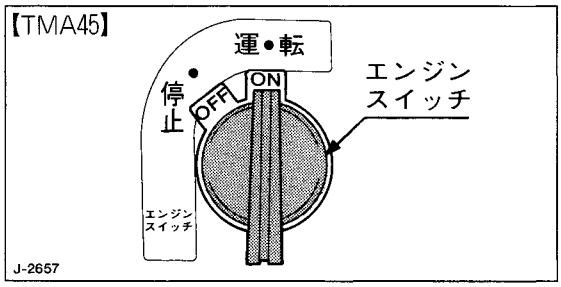
アクセルレバー

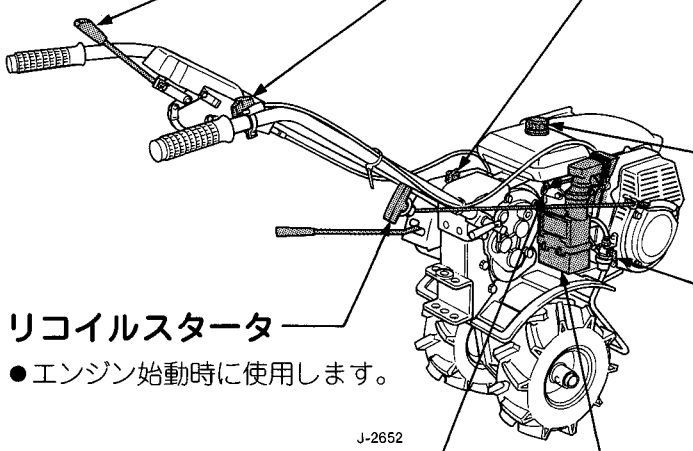
●レバーを**"高"**の方向に回すと，エンジン回転が上がります。



エンジンスイッチ

●エンジンの運転・停止に用います。

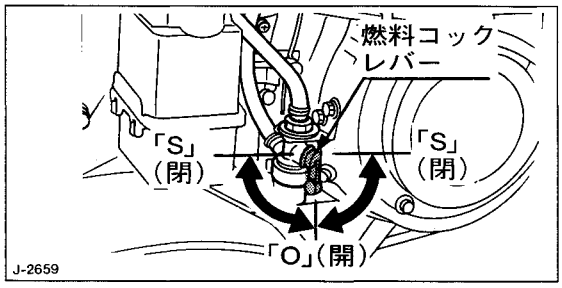




燃料キャップ

●自動車用レギュラガソリンを使用します。

燃料コックレバー

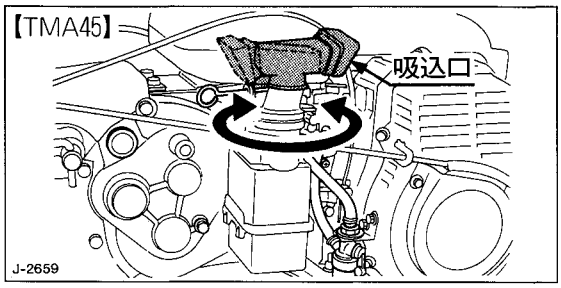


リコイルスタータ

●エンジン始動時に使用します。

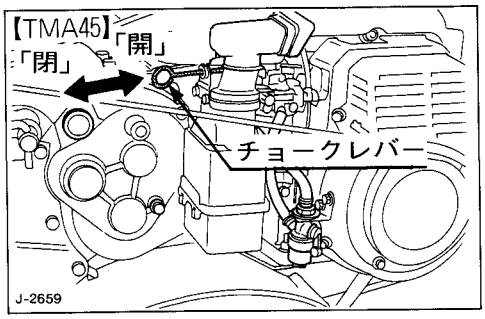
エアークリーナ

●ホコリの少ない方向に吸込口を向けてください。



チョークレバー

●エンジン始動時に使用します。



作業前にこれだけチェック　●作業前の点検について

注　意

＊点検時は前スタンドを立て，機械を安定させてください。
＊点検時はエンジンを停止してください。

●調子良く作業するために　〔詳細は"管理機の簡単な手入れと処置"の章参照〕

燃　　料

➡自動車用無鉛ガソリンを補給します。
➡タンク容量……約1.5ℓ

警　告

＊ガソリン給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。
＊ガソリンがこぼれたときはきれいにふき取ってください。

重　要

＊水やゴミを混入しないようにしてください。

エンジンオイル

➡エンジンを水平にして，レベルゲージで規定量あるか点検します。
➡不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
（夏……G30 冬……G20）

ミッションオイル

➡スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させた状態で，検油口まであるか点検します。
➡不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。（M80B又はM90）

エアークリーナ

➡オイルパンの規定線まであるか点検します。
➡不足している場合は，エンジンオイルを補充します。
➡ダストカップにゴミがたまっていないか点検します。
➡エアークリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。

タ　イ　ヤ

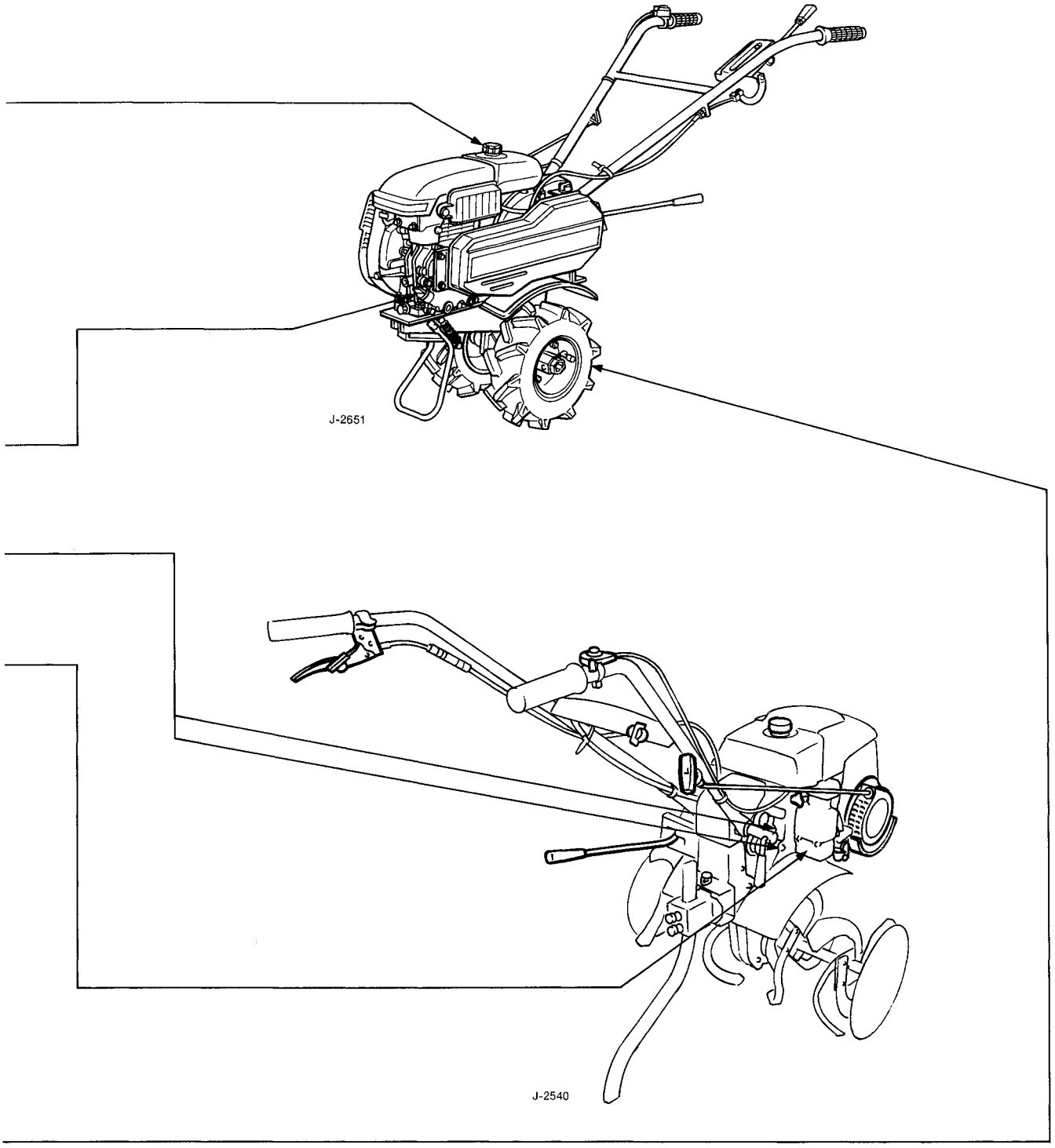
➡空気が抜けていないか，また損傷がないか点検します。

各ケーブル

➡ケーブル注油部より，エンジンオイルを注油します。

そ　の　他

➡エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検します。
➡各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。
➡各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。



J-2651

J-2540

注 意

＊抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させ，給油口から給油してください。
＊点検時はエンジンを停止してください。

●安全に作業するために

主クラッチ

➡クラッチの**"入""切"**が確実に行なえるか点検します。
➡不良の場合は調整・注油します。

主変速レバー

➡変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検します。

電気配線

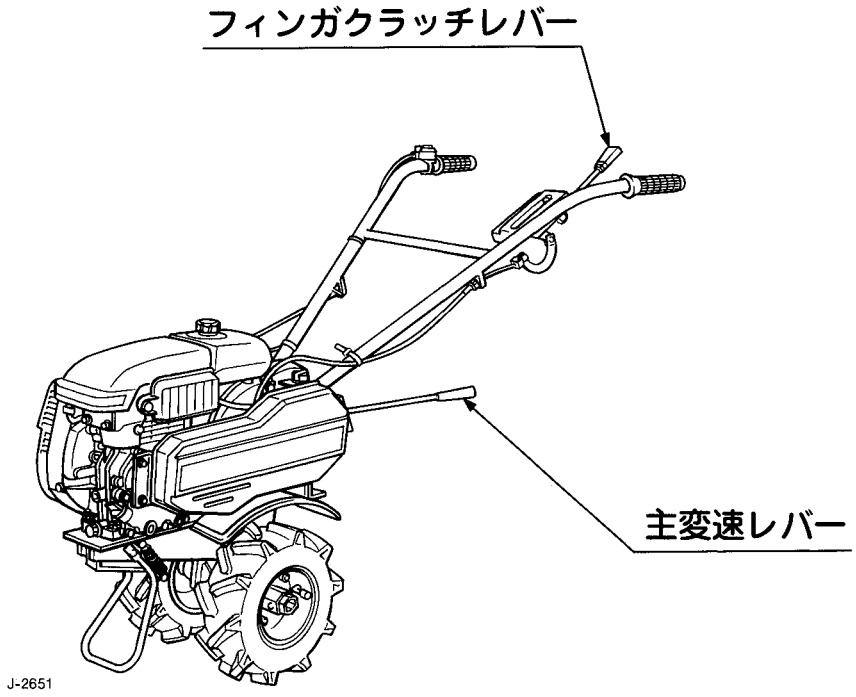
➡被覆が溶けたり破れていないか，また配線がはさまれていないか点検します。

エンジン周辺部

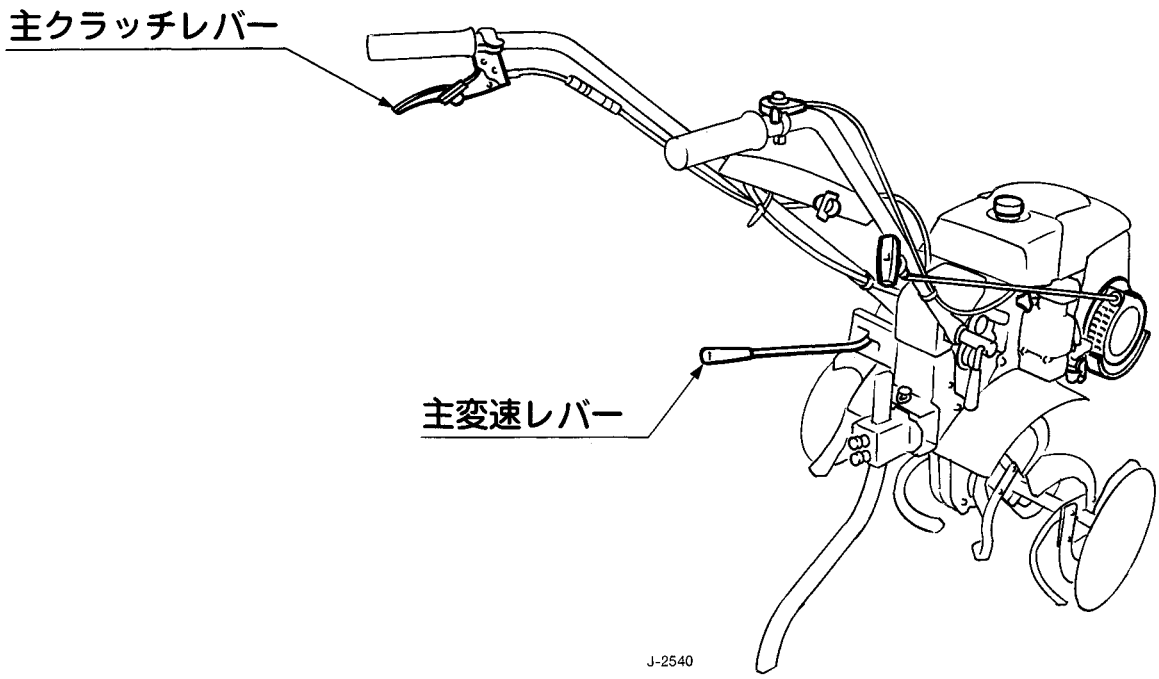
➡ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検します。

ガソリン漏れ

➡タンクや燃料パイプからガソリン漏れがないか点検します。
➡自動車用無鉛ガソリンを補給します。
➡タンク容量……約1.5ℓ



J-2651



J-2540

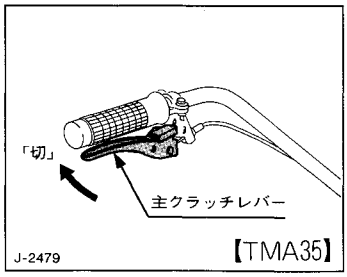
このように運転します　●上手な運転のしかた

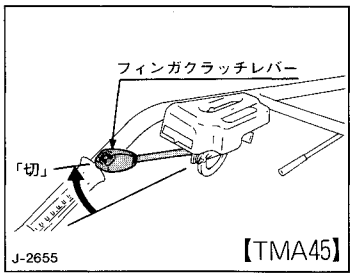
エンジンの始動のしかた

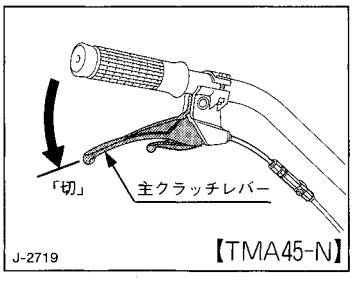
注　意

＊エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず“切”にしてください。
＊エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。
＊マフラの排気方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
＊リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてください。

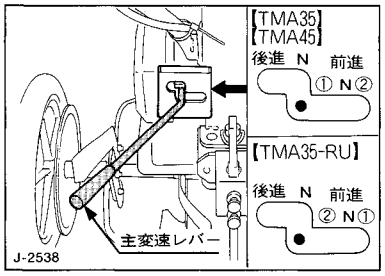
❶【TMA35･45-N】
主クラッチレバーを必ず**“切”**にします。
【TMA45】
フィンガクラッチレバーを必ず**“切”**にします。



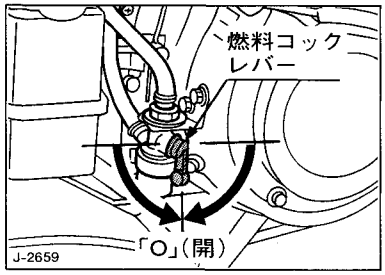




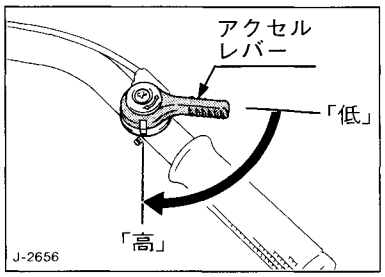
❷主変速レバーをN：**“中立”**にします。
レバー位置は右図●位置にします。



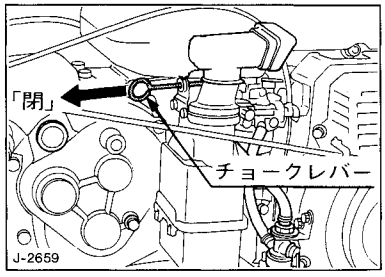
❸燃料コックレバーを**“開”**にします。



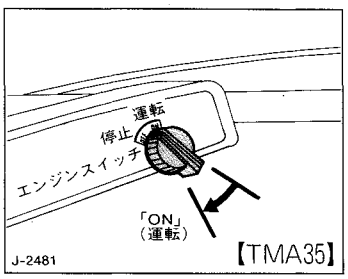
❹アクセルレバーを**“高”**にします。

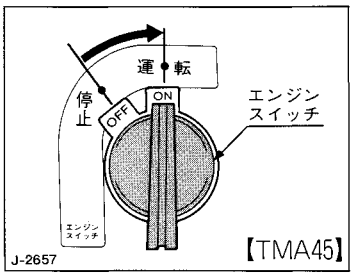


❺チョークレバーを引き**“閉”**にします。

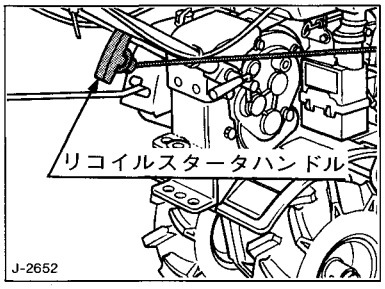


❻エンジンスイッチを**“運転”**にします。





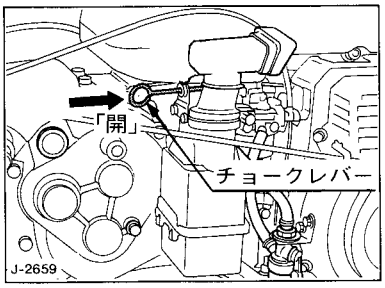
❼リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ってください。
エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。



❽エンジンの調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。
（開く）

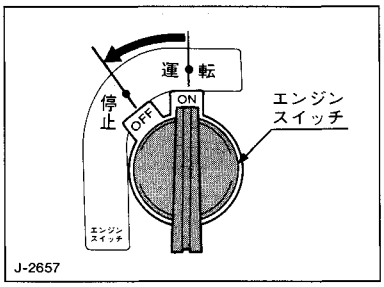
補　足

＊2～3分暖機運転を行なってから，作業を始めてください。



停止のしかた

❶主クラッチレバーを**“切”**にします。
❷アクセルレバーを**“低”**にします。
❸エンジンスイッチを**“停止”**にすると，エンジンが停止します。
❹燃料コックを**“閉”**にします。



重　要

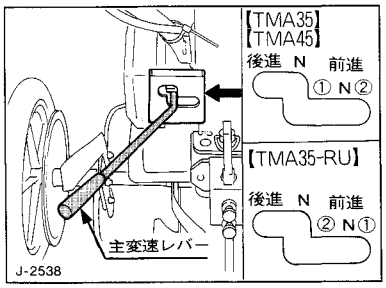
＊コックを開いた状態で保管したり，前に倒したり，また車両で運搬すると，エンジン始動が困難となることがあります。

注　意

＊エンジン停止後は，しばらくマフラが熱くなっていますから，手を触れないでください。

発進のしかた

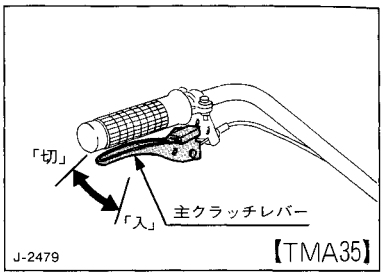
❶主変速レバーを希望の変速位置に入れます。

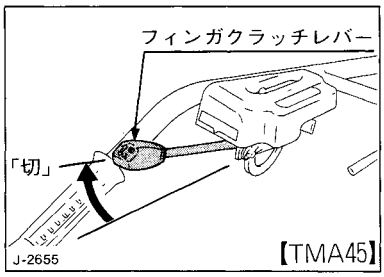


警　告

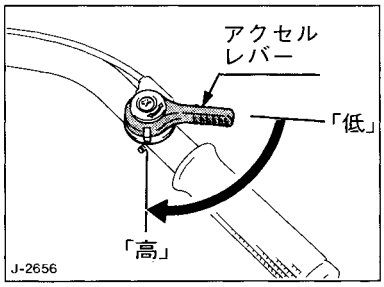
＊特に後進するときは，ハンドルが持上がるので，主クラッチの接続はゆっくり行なってください。
＊ロータ装着時は後進禁止

❷主クラッチレバーを“入”にすると発進します。
主クラッチレバーはゆっくり操作してください。また，フィンガクラッチレバー方式の場合は左手親指で下に押せば，ハンドルを握ったまま主クラッチが入ります。





❸アクセルレバーを上げて速度を調整します。

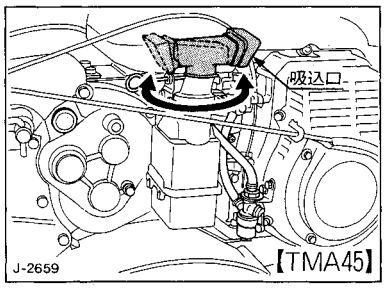


ならし運転（最初の10時間）（程度使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用は避け，無理をさせないようにしましょう。

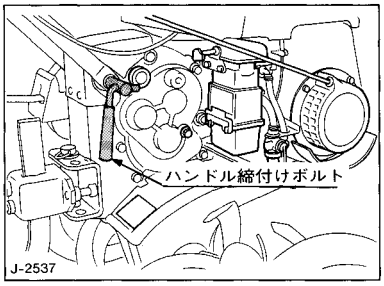
エアークリーナの調節

エアークリーナの吸込口が回動します。
作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。【TMA45】



ハンドル高さの調節

ハンドル締付けボルトを 4 ～ 5 回転ゆるめて，高さを調節してください。
ハンドル締付けボルトを 4 ～ 5 回転程ゆるめて，お望みの高さに調節してください。



補　足

＊ハンドルを急に大きく上下するとカバーに接触して変形しますので，ゆっくりカバーに当らないように調節してください。

注　意

＊抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させてください。

こんなときどうする？　●管理機の簡単な手入れと処置

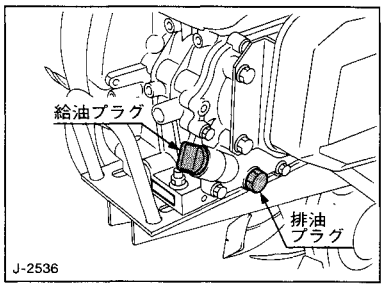
注　意

＊給排油・点検・調節・清掃は必ずエンジンを停止して行なってください。
＊スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させて行なってください。

エンジンオイルの交換

■排油のしかた

スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させ，排油プラグを取外し，排出してください。



■給油のしかた

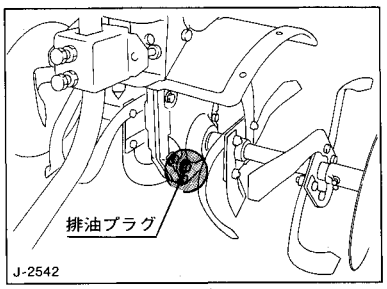
エンジンを水平な状態にして，給油口の口元まで入れてください。

交　換		オイルの種類
第1回目	以　後	
25 時 間 使 用 後	100 時 間 使用ごと	クボタ純オイル (ガソリン，エンジン用) 冬G20，夏G30

ミッションオイルの交換

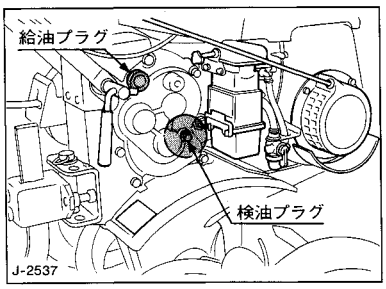
■排油のしかた

できるだけ機体を後に傾けるようにして，排油プラグを取外し，排油してください。



■給油のしかた

スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させ給油プラグを外し，検油プラグまで給油してください。

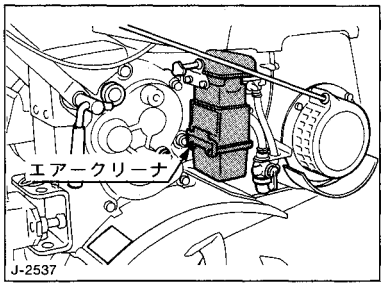


交　換		オイルの種類
第1回目	以　後	
50 時 間 使 用 後	100 時 間 使用ごと	クボタ純オイル M90又は，M80B (ミッション用)

エアークリーナエレメントの清掃とオイル交換

❶エレメントを取外し，白灯油で洗い，エレメントの白灯油をよく振切って取付けてください。
❷オイルだまりはよく洗浄し，新しいオイルを規定量入れてください。
（エンジンオイルSC級以上）

通常	50時間使用ごと

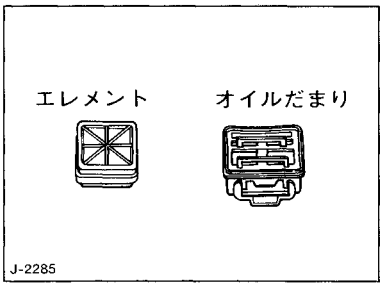


重　要

＊汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

エレメント（オイル）	清掃	通　常	50時間ごと
		ホコリの多い場合	毎　日
	交換	汚れがひどいとき	

＊チリやホコリが多く発生する土入れ作業などで使用する場合は，
❶ホコリの少ない方向にエアークリーナ吸込口を向けてください。【TMA45】
❷毎日点検してください。



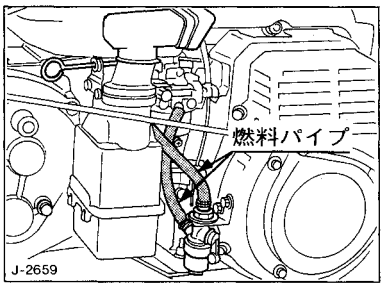
＊規定量…OIL LEVELと記載されているところ

燃料パイプの交換

警　告

＊燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリン漏れして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは新しい燃料パイプと交換してください。

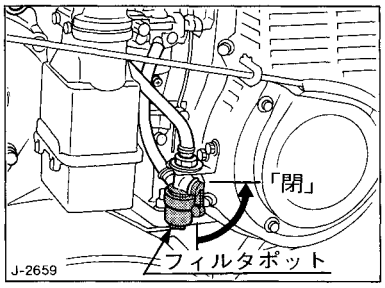
交　換	2年間ごと



フィルタポットとフィルタエレメントの清掃と交換

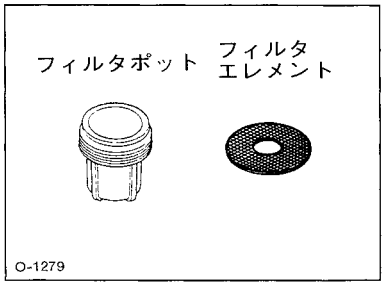
燃料コックレバーを**"閉"**にし，フィルタポットとフィルタエレメントを取外して，フィルタポットとフィルタエレメントを清掃してください。

清　掃	50時間使用ごと
交　換	汚れがひどいとき



注　意

＊取付け後ガソリン漏れがないか確認してください。

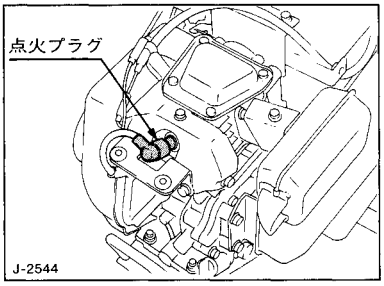


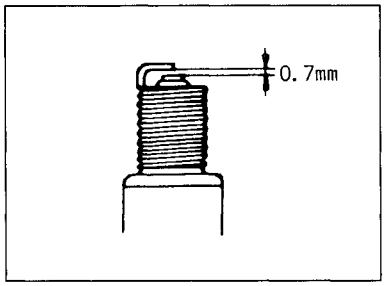
点火プラグの調整・清掃・交換

❶ボンネット又はフロントカバーの締付ボルトをゆるめて取外します。
❷ボックススパナでプラグを外してカーボンを清掃します。(ボックススパナ21)
❸電極のすきまが0.7㎜になるように調節してください。

調　　節	50時間使用ごと

点火プラグ	NGK BP6HS





重　要

＊締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊調節・清掃してもエンジンが不調のときは，新しいプラグと交換してください。

主クラッチケーブルの調節

注　意

＊ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。

■主クラッチケーブルによる調節

主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押えて10㎜～15㎜たわむ程度に調節金具でテンションプーリを調節してください。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後調節金具を調節してください。

【TMA35】

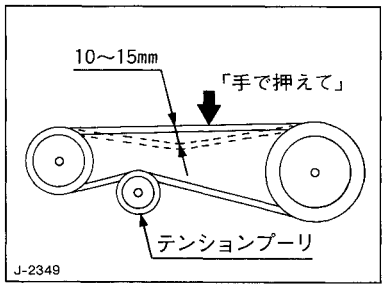
ベルトがスリップする場合	調節金具を短くする。
クラッチが切れないとき	調節金具を長くする。このとき，テンションプーリがベルトカバーに接触しないよう注意してください。

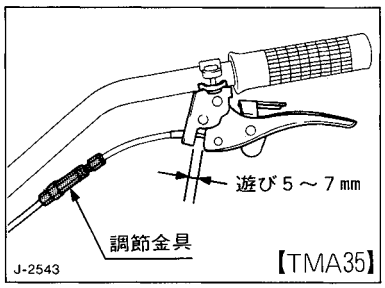
【TMA45】

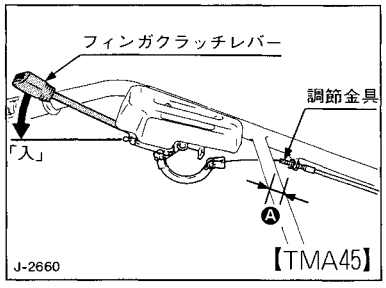
ベルトがスリップする場合	調節金具のⒶ部を短くする。
フィンガクラッチレバーが重すぎる場合	調節金具のⒶ部を長くする。

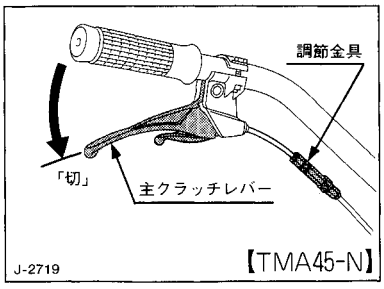
【TMA45-N】

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
クラッチが切れないとき	調節金具を短くする。

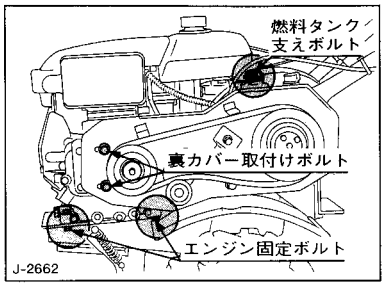








■エンジン前後による調節



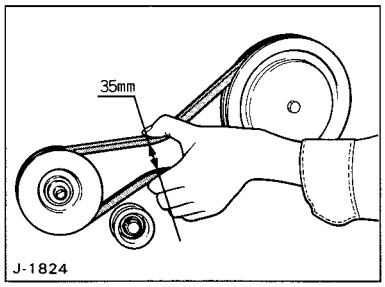
ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取換えたとき，主クラッチケーブルで主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動調整します。エンジン固定ボルト４本と，燃料タンク支えボルト，裏カバー取付ボルトをゆるめて調節し，調節後は確実にボルトを締付けてください。

重　要

＊主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの“入”“切”が確実に作動するか確認してください。

新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間を約35㎜ぐらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。



重　要

＊ベルトはプーリに掛けて調節してください。

タイヤの空気圧の調節

空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	1.2～1.4kg/㎠

空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

警　告

＊タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。

＊タイヤに傷があり，その傷がコード(糸)に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。

＊タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

作業が終わったら

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日のうちに清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないよう油を塗布してください。

重　要

＊水洗いのとき，エアークリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックレバーを閉めてください。

重　要

＊燃料コックレバーを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

保　管

(1)主クラッチレバーは**"切"**の位置にして，保管します。
(2)エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するためリコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。
(3)燃料タンク・キャブレター・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（1ヵ月以上使用しないとき）

注　意

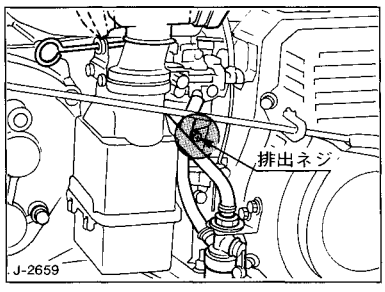
＊カバーをかけたり，納屋に格納するときは火災の危険があるため，エンジンが冷えてからにしてください。

重　要

＊ほ場(田，畑)に保管駐車していると，地下からの湿気により，車体特に燃料タンクの錆びる原因となります。
カバーをかけて湿気や太陽光線の少ない場所に保管ください。

燃料の抜取り

1ヵ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレター内は排出ネジをゆるめて，フィルタポットは外して全部抜取ってください。



重　要

＊燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレター内のガソリンが腐って，次の始動が困難になります。

警　告

＊燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

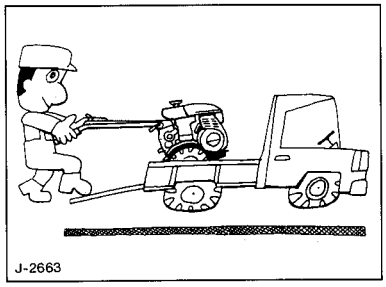
管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積込み，運搬

注　意

＊あゆみ板は，丈夫なすべり止めのあるものを使用してください。
＊途中で，主クラッチは絶対に切らないでください。
＊登りは“前進”，下りは“後進”で行なってください。
＊トラックは，荷台に天井が無い車を使用してください。
＊車軸にロータ爪や鉄車輪を装着しての走行は危険です。タイヤに交換してください。

(1)トラックを平たんな場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
(2)あゆみ板を荷台に確実に固定します。
(3)上り，下りは最低速で走行します。
(4)主変速レバーは，低速に入れ，また主クラッチレバーも**“入”**にしておきます。
(5)機体は荷台にロープで確実に固定します。
(6)機体にロープを掛けるときは，後ヒッチ・車輪・前スタンド・ハンドル部２ヵ所を固定してください。
(7)燃料コックレバーは**“閉”**にします。
(8)雨天時には，エアークリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。


J-2663

重　要

＊ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気を付けてください。
破損したり機能が損なわれる恐れがあります。
＊エアークリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入りエアークリーナ性能が低下します。
＊燃料コックレバーを“開”いたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。またクランクケース内にガソリンが流入することもあります。

付記　●主要諸元・消耗部品一覧表・標準付属部品

■主要諸元

型式		TMA35	TMA35-RU		TMA45
区分		——	——		——
呼称		——	——		——
機体寸法	全長(mm)	1350	1400		1375
	全幅(mm)	580	600		600
	全高(mm)	895	920		945
質量(装備重量)(kg)		51(ロータ付)	46(タイヤ付)	44(ゴムラグ付)	48(タイヤ付)
エンジン	名称	クボタGH100-TB	クボタGH100-TA		クボタGH130-TY
	種類	空冷4サイクルガソリンエンジン(OHV)			空冷4サイクルガソリンエンジン(OHV)
	総排気量(L)	0.098			0.125
	出力/回転数(PS/rpm)	2.3/1800(最大出力3.5)			2.9/1800(最大出力4.2)
	使用燃料	自動車用レギュラーガソリン(無鉛)			自動車用レギュラーガソリン(無鉛)
	燃料タンク容量(L)	1.5			1.5
	点火方式	電子点火			電子点火
	始動方式	リコイル式(U仕様：防水カバー付)	リコイル式(防水カバー付)		リコイル式(防水カバー付)
タイヤ		——	3.50-5	ゴムラグ車輪	3.50-5
主クラッチ方式		ベルトテンション式			ベルトテンション式
変速段数	前進	2段			2段
	後進	1段			1段
車軸回転速度(rpm)		前進74, 120 後進26	前進33, 51 後進19		前進85, 137 後進30
PTO回転数(rpm)		PTO軸なし	1027		PTO軸なし
備考	用途	ロータ用	ロータリ用		ロータ用

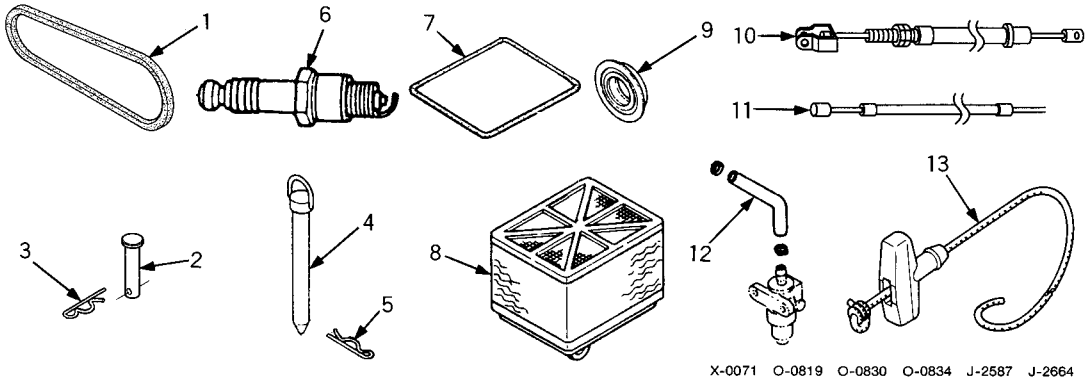
補　足

＊本機部品のTMA31との互換性はありません。

＊アタッチメントのTMA31との互換性については，アタッチメント希望小売価格表を参照してください。

＊TMA35
＊TMA45　} にはロータリは使用できません。

■消耗部品一覧表



図番	品番	品名	個数	適用機種		
				TMA35	TMA35-RU	TMA45
1	61061-8341-0	特Bベルト36	1	○	○	
1	60932-6221-0	Vベルト(SB35)	1			○
2	61041-1717-0	車軸ピン	4	○	○	○
3	05516-50800	スナップピン	4	○	○	○
4	61232-5213-0	ヒッチピン	1	○	○	○
5	05515-51600	スナップピン	1	○	○	○
6	13901-6771-0	スパークプラグ	1	○	○	○
7	12643-1130-0	エアークリーナパッキン	1			○
8	12643-1108-0	エアークリーナエレメントアッシ	1			○
9	61191-1715-0	オイルシール	2	○	○	○
10	60901-4213-0	ケーブル(主クラッチ)	1	○		
10	60932-4216-0	ケーブル(主クラッチ)	1			○
10	60912-4213-0	ケーブル(主クラッチ)	1		○	
10	60933-4216-0	ケーブル(主クラッチ)	1			○ N
11	60932-4293-0	ケーブル(スロットル)	1	○		
11	61511-4293-0	ワイヤ(スロットル)	1		○	
11	60901-4293-0	ケーブル(スロットル)	1			○
12	09661-60220	フューエルパイプ	1	○	○	○
13	12915-6109-0	ロープアッシ	1	○	○	○

■標準付属品【TMA35】

品名	数量/台	備考
10 - 12 スパナ	1	
ドライバ	1	+, −差換え式
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	

【TMA45】

品名	数量/台	備考
取扱説明書	1	
保証書	1	

トラブルと処置

■エンジンが始動しないとき

原　　因		処　　置
＊始動の手順が間違っている。	➡	正しい順序で始動する。（8ページ参照）
＊タンクにガソリンを入れたまま1ヵ月以上保管しガソリンが腐った。	➡	タンク・キャブレター内の腐ったガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
＊フィルタポットに水やゴミが混入している。	➡	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。または新しい物と交換する。キャブレター内のガソリンも排出する。
＊チョークを引いた(閉じた)状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	➡	チョークを戻し(開き)リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
＊エンジン停止後，燃料コックレバーを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレター内のガソリンがオーバフローした。	➡	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
＊エアークリーナエレメントが目詰まりしている。	➡	エレメントを外して清掃する。または新しい物と交換する。
＊点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	➡	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または，新しい物と交換する。

■エンジンの回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　　因		処　　置
＊エンジンが暖まってもチョークを引いた(閉じる)まま運転している。	➡	チョークを戻す(開く)。
＊フィルタポットに水やゴミが混入している。	➡	ポットを外して清掃する。キャブレター内のガソリンも排出する。
＊エアークリーナエレメントが汚れている。	➡	エレメントを外して清掃する。
＊アクセルケーブルの引張りが不足している。	➡	ケーブルのセット位置を調節する。

■エンジンが振れる，異音が発生する

原　　因		処　　置
＊エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	➡	取付けボルトを締付ける。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，お買いあげいただいた購入先にご相談ください。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は製造打ち切り後９年といたします。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

株式会社クボタ

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556	電(06)	648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目１番３号	〒103	電(03)	3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東北支社	仙台市青葉区本町２丁目15番11号	〒980	電(022)	267-9000
中部支社	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号(大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九州支社	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号(住友生命博多ビル)	〒812	電(092)	473-2401
札幌支店	札幌市西区西町北16丁目１番１号	〒063	電(011)	662-2121
仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(022)	384-5151
東京支店	浦和市西堀５丁目２番36号	〒338	電(048)	862-1121
大阪支店	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8506
岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286)	61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(0297)	52-5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720)	40-1121
西日本総合部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722)	45-8601
東日本総合部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(0297)	52-0510
北海道部品センター	北海道北広島市大曲工業団地３丁目１番地	〒061-12	電(011)	376-2335
九州部品センター	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
株式会社クボタアグリ東北				
秋田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188)	45-1601
仙台事業所	宮城県名取市田高字原182-１	〒981-12	電(022)	384-5151
株式会社クボタアグリ東京				
東京事業所	浦和市西堀５-２-36	〒338	電(048)	862-1121
新潟事業所	新潟市上所上１-14-15	〒950	電(025)	285-1261
株式会社クボタアグリ大阪				
金沢事業所	石川県松任市下柏野町956-１	〒924	電(0762)	75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町１-１	〒491	電(0586)	24-5111
大阪事業所	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8550
株式会社クボタアグリ中四国				
米子事業所	米子市米原７丁目１番１号	〒683	電(0859)	33-5011
岡山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862)	79-4511
高松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３	〒769-01	電(0878)	74-5091
株式会社クボタアグリ九州				
福岡事業所	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
熊本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１	〒861-41	電(096)	357-6181

品番 60901－6512－2

Kubota